

わかやま 市議会 だより

No.120 令和8年(2026年)2月1日発行

・特集 いくつになっても、続く夢

楠見SVC	P2
・12月定例会の概要	P4
・採決状況	P5
・一般質問	P6
・委員会審査の概要	P10
・市議会からのお知らせ	P12



生涯現役

跳べ! 青春の続き

笑顔でつなぐラリー

和歌山市・楠見地区を拠点に活動する「楠見SVC」は、40歳代から60歳代までの男女12名が所属するソフトバレーボールクラブです。毎週金曜日に学校の体育館にメンバーが集まり、笑顔と掛け声が飛び交う中、現役世代に負けず劣らずの活動を続けています。代表の阪井久晴さんがソフトバレーを始めたきっかけは、

子供のPTAでの試合が楽しかったこと。初めは他チームの練習に参加していましたが、楠見地区で自分のチームを作りたいとの思いが募り、平成30年に楠見SVCを設立したそうです。

「チームのモットーは、一番に楽しく。身体を動かし、仲間と話ができて、楽しいからこそあの場所に行こうと思

えるーそんな場所を作りたい」とのお話が印象的でした。ソフトバレーは4人制でボールが少し大きくて柔らかいことが特徴です。

「ボールが大きくラリーが続きやすいため、子供や高齢者でも楽しめることが一番の魅力」と目を輝かせる阪井さんからは、ソフトバレーへの深い情熱が伝わってきました。



試合前、メンバーは円陣を組み、声を掛け合いながら心をつついています。体育館に響く掛け声はチームの結束を象徴し、勝利への強い意志を感じさせる瞬間です。

和歌山市ソフトバレーボール協会

協会の長い歴史の中、ねんりんピック準優勝という初めての快挙で和歌山のレベルアップを感じます。現在、ソフトバレーの登録者は和歌山市で約200人です。元々は高齢者向けに考えられたソフトバレーですが、現在では、中学生など若い方や未経験の方も増えてきており、大変うれしく思っています。

協会としても、できるだけ多くの方にソフトバレーに親しんでいただけるよう、きっかけづくりや柔軟なルール運用など、より一層の普及に努めてまいります。

会長 小野 啓雄さん



実は和歌山市でじわじわと盛り上がりを見せるバレーボール。その中でも今回は、年齢を重ねてもなお、情熱を持ってコートに立つソフトバレーボールクラブ「楠見SVC」の皆さん取材しました。ねんりんピックの舞台でも輝くその姿は、生涯スポーツの力強さと、仲間とのきずなを教えてください。



楠見SVC

でも、続く夢

特集vol.32

いくつになっ

地域のきずなが生んだ ねんりんピック準優勝

そんな楠見SVCのメンバーのうち、阪井さんを含めた60歳以上の6人と助っ人1人が、ねんりんピック岐阜2025に和歌山県代表として初出場しました。大会では、予選リーグで連勝し、決勝リーグに進出。惜しくも1敗を喫しましたが、全員で気持ちを切り替えて最後まで戦い抜き、準

優勝に輝きました。「次の目標は優勝です」と力強く語る阪井さんからは、チーム一丸となり目標を達成した姿が目につかび、期待に胸が大きく膨らみます。コートに立つ二人一人の笑顔、互いを励まし合う声―その全てが、地域に根ざしたチームのきずなを感じさせてくれました。

生涯スポーツがもたらす活力

ソフトバレーの競技人口を更に増やすため、阪井さんたちは普及活動にも努められています。いつかシニアリーグを開催できればと熱く夢を語られていました。

年齢や経験を問わず、誰もが身体を動かし、仲間と楽しさを分かち合う時間は、日常に新たな力をもたらします。また、スポーツは勝敗だけでなく、心身の健康を支え、人生を彩る文化

でもあります。

生涯にわたってスポーツに親しみ、健康で生き生きと過ごすことは、地域全体に向きなエネルギーを広げ、健やかな暮らしを支える力となると強く感じました。

市議会としても、市民の皆様が生涯スポーツに取り組みやすい環境づくりに引き続き努めるとともに、誰もが自分らしく輝ける社会を育んでまいります。

編集後記



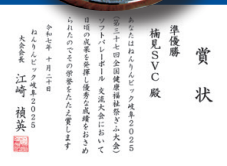
楠見SVCの活動を見学させていただき、年齢や性別を問わず、みんなが楽しそうにソフトバレーをしている姿が印象的で、見ている我々も一緒にプレーしたくなりました。

ソフトバレーだけではなく、様々な生涯スポーツが楽しめる環境を整備することで、スポーツを通じた心と身体の健康づくりに寄与していきたいと思います。

特集担当: 木野 十三、清末 博善



ねんりんピック岐阜2025 準優勝



ねんりんピック岐阜2025

ねんりんピックの愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の方々を中心として、あらゆる世代の人たちが楽しみ、交流を深めることができるスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典です。

岐阜大会では、スポーツ・文化の31種目の交流大会が開催され、大会を通じて競い合うとともに選手同士の交流も大いに深まりました。

楠見SVCは、ソフトバレーボール交流大会において予選を勝ち抜き、Gブロック準優勝というすばらしい成績を収められました。

大会後には、市議会へ準優勝の報告にお越しいただき、芝本議長が健闘をたたえました。

12月定例会採決状況

※議案等に対する賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」と表記しています。
なお、議長は通常、採決に加わらないため「/」としています。また、議員名は、会派ごとに議席番号順に表記しています。
※採決状況は、市議会ホームページでもご覧いただけます。

議案番号	件名	結果	創和クラブ										公明党議員団					民主クラブ			和歌山興志クラブ	日本共産党議員団		日本維新の会	無所属									
			辻本太一	林元弘	志賀真輔	浜田村彦	中谷謙二	丹羽直己	芝田和人	戸田祐典	古川宏均	山本北野	遠藤富士雄	堀登美子	堀良十三	西風章世	園内浩樹	荻浩昭	奥山哲郎	松本哲郎	山路末善	清中敏生	山端康史	川本忠相	赤松良寛	吉本昌純	尾崎方哉	坂口多美子	南畑幸代	森下佐知子	中庄孝次郎	山野麻衣子	井上直樹	永野裕久
			○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
議1	令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
議2	令和7年度和歌山市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
議3	令和7年度和歌山市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議4	令和7年度和歌山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
議5	令和7年度和歌山市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議6	令和7年度和歌山市工業用水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議7	和歌山市職員等旅費支給条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議8	和歌山市救急医療整備基金条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議9	和歌山市立保育所条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議10	学校教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例及び和歌山市職員給与条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
議11	和歌山市火災予防条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議12	市道路線認定(29路線)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議13	市道路線変更(3路線)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議14	損害賠償の額を定める	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議15	指定管理者の指定(和歌山市立和歌の浦アート・キューブ)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
議16	令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議17	令和7年度和歌山市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議18	令和7年度和歌山市卸売市場事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議19	令和7年度和歌山市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議20	和歌山市職員給与条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議21	和歌山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議22	和歌山市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議23	特別職給与条例及び和歌山市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議24	工事請負契約の締結((仮称)梅原広場アクセス道路新設工事その3)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議25	工事請負契約の締結((仮称)岡崎団地新3号棟建設工事)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議26	工事請負契約の締結((仮称)岡崎団地新3号棟建設電気設備工事)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議27	工事請負契約の締結((仮称)岡崎団地新3号棟建設機械設備工事)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議28	令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願4	精神障害者の重度心身障害児者医療費助成制度の拡充についての請願	採択	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議29 議30	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮1~3	人権擁護委員候補者の推薦	異議なし	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮1~8、 諮10~13、 諮15、 諮16(9月)	令和6年度和歌山市各会計決算(公営企業会計、一般会計、各特別会計)の認定	認定	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
諮14、 諮17(9月)	令和6年度和歌山市各特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議1	中国駐大阪総領事による不適切な発言を非難し、謝罪を求める決議案	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
発議2	「日本国国章損壊の罪」の早期制定を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○

12月定例会の概要

開会

12月1日

- ・会期の決定(12月1日～12月17日)
- ・議案説明(報告関係8件、議案27件(補正予算案10件、条例案9件、その他8件))

- ・決算関係の議案(令和7年9月定例市議会議案)
- ・各常任委員会の委員長報告(決算審査)
- ・反対討論(森下議員)、採決

一般質問等

12月3日

- ・永野裕久議員、木野十三議員、森下佐知子議員

12月4日

- ・堀 登美子議員、坂口多美子議員、志賀弘明議員

12月5日

- ・追加議案の説明(補正予算案1件)
- ・赤松良寛議員、中村元彦議員、山路恭世議員

常任委員会

12月9日～12日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

12月15日

- ・各常任委員会で議案について、討論及び採決(P10～P11に概要掲載)

閉会

12月17日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(南畑議員、中庄谷議員)、採決
- ・請願(1件)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件5件)、採決
- ・議員発議(決議案1件、意見書案1件)、採決

わかのすけの市議会ガイド!!



一般質問とは

議員が本会議で、議長の許可をもらって、市のいろいろな仕事について市長など執行機関に考えや方針を個人として質問することです。
また、グループ(会派)を代表して質問することを「代表質問」といい、和歌山市議会の場合、年1回、2月定例会で行われます。



和歌山市議会では、本会議場にモニターを設置し、会議の進行状況等が分かりやすくなりました。
また、傍聴の手続きも簡素化したので、お気軽にお越しください。

生中継・録画
中継がご覧いただけます。



一般質問



一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

創和クラブ



しが ひろあき
志賀 弘明

シティプロモーション

問 市の認知度向上を図るために生成AIを用いて、和歌山市及び各地域の歴史的・文化的魅力を際立たせる擬人化キャラクターを作成



擬人化キャラクター広告「和歌山市子」シリーズ

問 本キャラクターを市の継続的な財産とするためには、継続的な価値維持に向けた投資が不可欠と考える。

一般質問

した狙いは何か。また、メディアの反響はどうか。

答 大阪・関西万博の来場者等に向け、新大阪駅に掲出するために制作し、各地域の魅力をデザインに取り入れ、地域名や特色が一目で伝わる名称とすることで、本市を知っていただくきっかけづくりとした。

様々なメディアから取材要請をいただき、特にデザイン作成時に使用したAdobe Fireflyを提供するAdobe株式会社、自治体プロモーションの好事例として取り上げていただくことになった。

地域の住民や事業者が観光振興や特産品PRのために、積極的にキャラクターを活用できるようにするために計画しているガイドラインについて、内容や進捗状況はどうか。

答 簡単に活用できるよう、他都市の事例なども参考にしながら策定を進めており、一定の環境を令和7年度中に整える予定である。

南葵音楽文庫

問 紀州徳川16代徳川頼貞は、西洋音楽の熱烈な愛好家だった。彼の収集した約2万点の音楽資料の集大成が、南葵音楽文庫である。

今年度、普及会が発足し、生きた音楽文化として人々に届けるため、文庫の資料を元にした音楽を演奏し、解説する活動を行っている。この文庫の活用について、小中学校では、今後どのような取組を考えているか。

答 南葵音楽文庫は「音楽史の理解」や「郷土学習」を深めるために、貴重なものと認識している。県立図書館等、他の機関と連携しながら出前授業等

南葵音楽文庫に触れる機会を創出し、理解を深められるよう検討する。



なかむら もとひこ
中村 元彦

本市のまちづくり

問 11月に建設企業委員会において長野県塩尻市と富山市を訪問した。塩尻市における自動運転車両、AI活用型オンデマンドバスの取組や、富山市における公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりの取組は本市でも生かせるのではと考えるがどうか。



長野県塩尻市の自動運転バス

答 J R和歌山駅周辺の再整備や市街地再開発事業に

建設事業者育成

問 建設資材の市産品の活用を更に促す取組や、選定範囲を緩和し、県産品の活用も視野に入れた取組が必要だと考えるがどうか。

答 市産品の優先使用を前提として、対応できない品目については県産品の活用も選択肢として広げ、地域全体の経済循環が促進できるよう検討を進めていく。

子供たちの命を守る体制整備

問 虐待死や自ら命を絶つてしまう子供の命を守るためには、積極的に保護者や子供たちと向き合うことが重要だと考える。こども家庭センターや教育委員会、医療機関、警察からの情報を二元化し、専門職の臨

う取り組んでいく。

公明党議員団



きの じゅうぞう
木野 十三

獣害対策

問 アライグマやイノシシなど、獣害被害を及ぼす動物の数は餌の量で決まり、住宅地周辺への出没の一番の原因は、置き餌やばらまき餌などのむちゃな猫への餌やりである。猫の餌やりのルールを守れていない人へ、官と民が協力し、徹底した指導体制を構築すべきだと考えるがどうか。

答 動物愛護管理センターに寄せられた野良猫への餌やりの苦情について、状況を確認した上で、生殖することができる野良猫への給餌や置き餌、ばらまき餌などのルールが守られていない場合は、給餌の中止や地域猫活動等の改善に必要な助言や指導を行っている。今後も関係機関及び団体



「ひろえは街が好きになる運動」ブルゾン

答 本市では、住居やお店の

きれいなまちづくり

問 JT（日本たばこ産業株式会社）では、「ひろう」という体験を通じて捨てない気持ち育てたい。日本中でごみを集めるのは、日本中にマナーを広めたいからとのこと。 「ひろえは街が好きになる運動」という清掃活動を社会貢献活動の一環として行っている。

本市として、市民が自由な時間に無理なく、自主的にごみを拾うこの美化運動の理念を共有し、更なる美化活動につなげてはどうか。

在宅育児支援制度の継続



なかたに けんじ
中谷 謙二

問 本市も受託事業として実施してきた和歌山県在宅育児支援事業が、令和7年度以降は廃止された。

仕事と子育ての両立支援が手厚くなる一方、在宅育児家庭はほぼ対象から外され、支援格差が生じている。

あらゆる児童の小学校給食無償化享受

問 本市では子育て世帯の負担軽減を図り、子供の健全な成長を支えるため、小学校給食の無償化を恒久化しているが、不登校児童



少子化対策の観点からも、子育ての形にかかわらず、収入面で制約の大きい家庭が子育てを選択できる環境を整えることが必要である。県の事業が廃止となった今、在宅育児支援に取り組むべきだと考えるがどうか。

不登校児童生徒のオンライン学習制度

問 不登校児童生徒がタブレット端末などを利用した場合に出席扱いとする制度は、子供の心理的負担を軽減し、学びを継続する上で効果がある一方、制度の存在そのものが十分に届いていないという課題が浮き彫りになっている。

当事者にとって極めて重要な情報であることを踏まえれば、早急かつ確実な周知が必要と考えるがどうか。

答 今後、学校等を通じて対象となる児童生徒や保護者に、家庭訪問等の機会を捉えて、更に周知できるよ

一般質問

よう、どのような周知策を講じるのか。

周りを毎朝5分間清掃する「おはよう5分間清掃」を呼びかけ賛同いただいております、今後市報やSNS等を活用して更に広く周知するとともに、本市においても「ひろえば街が好きになる運動」の理念を共有し、市民の皆様が、日常の中で無理なく自主的にごみを拾い、まちに愛着を持てる美化活動につなげていく。



ほりuchi とみこ
堀 登美子

RSワクチン定期接種化

問 RSウイルスは、生後間もない赤ちゃんが肺炎や細気管支炎を引き起こし得る重大な感染症である。

新生児や乳児の重症化を予防するため、国が令和8年4月から妊婦を対象にしたワクチンの定期接種を決定したが、初年度に混乱が起らないか懸念される。

本市として、4月接種開始に向け、どのように取り組んでいく予定か。

また、確実に情報が届く



答 速やかに市医師会等と連携を図り、体制整備等に取り組んでいく。周知策については、産科医療機関等と連携し、対象者に確実に情報が提供される体制を構築していく。また、妊婦に対しても、妊娠届出時に効果と安全性や副反応等の情報提供を行い、安心して接種できるよう周知していく。

带状疱疹ワクチン接種の助成拡充

問 令和7年4月から、65歳以上5歳刻みの带状疱疹ワクチン定期接種が始まった。本市の個人負担額は全国の自治体と比べても低く、対象者の方からは喜びの声

があるが、50代の方などからは、高額で今は諦めるしかないといった切実な声をいただいた。

带状疱疹を発症すると、生活への影響は想像以上であり、特に働き盛り世代で発症すると、仕事などに大きな影響が出る。50歳から64歳への助成を拡充すべきと考えるがどうか。

答 ワクチンの持続期間が約5年から10年であるため、発症のピークを迎える70歳代に再度接種を考えていただく必要がある、その場合の接種費用は全額自己負担となる。そのような事情も踏まえ、接種状況の推移や、国の動向などを注視しながら検討していく。

民主クラブ



やまし やすよ
山路 恭世

女性起業家支援と女性活躍ロールモデルの発信

問 人口減少社会において、

市として女性視点での社会課題解決型ビジネスへの挑戦を、重点支援枠として位置付け、政策的に強化していく考えはあるか。

答 女性ならではの視点から生まれるアイデアには、大きな可能性があると考える。女性の視点を生かした社会課題解決型ビジネスに挑戦しやすい環境となるよう取り組んでいく。

問 ちよと先を飛ばたく女性起業家やリーダーをモデル事業とし、行政が積極的に育成・発信する仕組みを構築する考えはあるか。

答 モデル事業として育成・発信する仕組みを構築することは重要であると考えている。地域で活躍する女性の取組事例を積極的に発信し、活躍を後押ししていく。

後継ぎベンチャー支援

問 家業を継いだ後継者が企業の価値を次世代の力でアップデートする「アトツギベンチャー」への支援や育成の仕組みを、今後の本市産業政策の一つと位置付け、取り組んでいくがどうか。

答 今後、先進都市の事例

を研究し、「アトツギベンチャー」の育成につながる仕組みづくりなどの環境整備に努めていく。



やまもと ただすけ
山本 忠相

子育て環境日本一の実現

問 病児保育事業は、非常に重要な事業であるにもかかわらず、市から支給されるのは、人件費等の経費から利用料収入を引いた差額分のみとなるため、完全な自転車操業を強いられる。それどころか、昨今の賃上げ傾向や資格保持者を確保することを考えると、人件費がより大きくなる傾向は今後も変わらない。

事業開始時には、初期投資に対する補助もあるが、これも全額支援されるわけではなく、持ち出しは免れない。また、こういう状態であると、将来の設備改修に備えることもできない。

事業を行っても利益がなしか赤字が出る。その上、多額の立替えを事業者者に背

無所属(国民民主クラブ)



ながの ひろひさ
永野 裕久

児童虐待防止対策

問 乳幼児健診の未受診児は虐待につながるリスクが高いとされている。集団健診の平日夜間や土日祝の実施が受診率の向上につながると考えるがどうか。

答 受診希望の状況や医師等の従事者の確保についての課題を踏まえて検討する。

日本共産党議員団



もりした さちこ
森下 佐知子

住宅行政

問 住宅第2課管轄の住宅の一般募集の実施とともに、住宅第2課にしか制度がないエレベーター管理人報償金は、25年前から求めており、廃止するべきと考えるがどうか。

答 市営住宅の入居募集は地域住民の居住の安定を確保しつつ、公募を含めた入居基準を検討し、早期に実現できるよう指示している。エレベーター管理人報償金は、縮減廃止に向け段階的引下げを進めている。



さかくち たみこ
坂口 多美子

地域保健医療

問 急激な物価高騰に診療報酬が反映されず、多くの医療機関は赤字に陥っている。「ある日突然病院がなくなる」は遠い地域の話ではなく、今すぐ支援が必要であるが市長の認識はどうか。

答 困難な状況であり、継続して国に声を上げていく。



みなみばた さちよ
南 畑 幸代

不登校問題等

問 県下の不登校児童生徒が増加し続けており、魅力ある学校づくり、教職員増員や別室登校(SSR)の充実など必要ではないか。

答 教職員増員は国に強く要望しており、小学校のSSRの充実、不登校児童の状況やニーズ支援に努める。

四季の郷公園の冬季における盛り上げ策



あかまつ よしひろ
赤松 良寛

和歌山興志クラブ

問 四季の郷公園は、冬季の来場者が極端に少なくなることから、冬場における魅力向上を図るべきであると要望してきた。令和7年

負わせてもよいのか。改善が必要だと考えるが、市長の見解はどうか。

答 病児保育は、子育て環境日本一の実現に欠かせない重要な支援事業である。現行では実績払いとなるため、事業者に立替えの負担が生じ、初期投資や運営面でも負担が残ることから、新規参入や安定した運営の妨げとなっている。委託的要素の高い事業であることや、国制度の趣旨を踏まえ、病児保育実施事業者が安定して運営できるよう、委託への見直しを検討していく。

鳥獣被害の現状とその対策

問 鳥獣害問題は郊外に限らず、空き家が野生動物の住みかとして衛生問題になっている。ごみ出しカラス対策ネットの活用が進めば、行き場を失ったカラスによつて農作物被害が深刻化する。環境問題を含む鳥獣害問題は、空き家問題とも関連しており、全庁を挙げて取り組む課題と考えるが、市長の考えはどうか。

答 本市では、捕獲活動など農業被害対策に加え、ご

声の市議会だより (市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

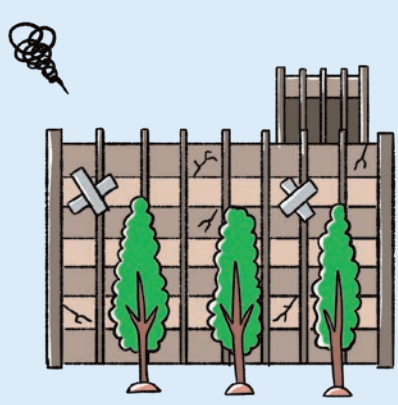
ご希望の方は、議会事務局 秘書広報課 ☎435-1120 までご連絡ください。

委員会審査の概要

総務委員会

当委員会に付託された議案11件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第6号)中、庁舎管理事業(選挙管理委員会事務局)371万7千円について。これは、和歌山商工会議所建物の老朽化に伴い、選挙管理委員会事務局の事務室を移転するものです。



税系システム改修事業令和8年度の限度額を5033万6千円とする債務負担行為の補正について。これは、令和7年度税制改正に伴い、税系システムを改修するものです。

録画中継



12月9日



12月11日

59万1千円について。これは、公式ホームページへのアクセス集中に伴う閲覧障害に対応するため、サーバーの負荷分散を実施するものです。



和歌山市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定について。

これは、和歌山市人事委員会が行った職員の給与等に関する報告及び勧告に基づき、給料表の引上げ改定、期末手当及び勤勉手当の支給率の引上げ、交通用具使用者に対する通勤手当額の引上げ並びに初任給調整手当の引上げを行うため、所要の改正を行うものです。

なお、審査過程において、システム標準化に係る本稼働時期の変更、ふるさと納税を活用した教育機関等への支援などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

厚生委員会

当委員会に付託された議案7件について、慎重審査の結果、可決すべきものと、また、付託された請願1件について、採択すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第6号)中、国民健康保険事務事業(子ども・子育て支援金)1843万9千円について。これは、令和8年度に創設される子ども・子育て支援金制度に伴い、支援金を徴収するためのシステム改修を行うものです。

庁舎管理事業(地域包括支援課)98万円について。これは、和歌山商工会議所建物の老朽化に伴い、地域包括支援課の事務室を移転するものです。

救急医療整備基金事業1億5011万円について。これは、故人からの寄附金を活用し、救急医療整備基金へ積立を行うものです。

斎場運営事業942万1千円について。これは、火葬時の燃料使用量が当初の見込みよりも増加したことに伴い、業務用燃料費を増額補正するものです。

動物保護管理事業54万3千円について。これは、動物愛護管理セン

録画中継



12月10日



12月12日

ターにおける動物の収容頭数が当初の見込みよりも増加したことに伴い、飼料費を増額補正するものです。



議案第28号、令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第8号)中、物価高対応子育て応援手当支給事業10億4409万8千円について。これは、物価高の影響を受けている子育て世帯を支援するため、子供一人当たり2万円を支給するものです。

なお、審査過程において、子ども・子育て支援金制度、和歌山市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定、こども未来ギフトの品目の追加などについて執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

経済文教委員会

当委員会に付託された議案4件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第6号)中、文化財活用事業73万7千円について。これは、太田城水攻め堤跡等へ訪問者を円滑に誘導し、歴史や魅力を分かりやすく伝えるための案内板及び説明板を設置するものです。

産地育成事業29万8千円について。これは、有機農業等を行う農業者団体に対して支援する環境保全型農業直接支払交付金について、県支出金の追加内示に合わせて増額補正するものです。



観光振興事業171万2千円について。これは、民間企業からの寄附金を活用し、和歌山駅西口地下広場(わかちか広場)の多目的トイレの老朽化した設備の更新及び

録画中継



12月10日



12月12日

美装並びにPRグッズを製作するものです。

中学校維持管理事業1252万円について。これは、市立中学校の校用燃料費が当初の見込みよりも増加する見込みとなったため、増額補正するものです。

議案第28号、令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第8号)中、物価高騰対策地域商品券配布事業23億9285万7千円について。これは、物価高騰の影響を受けた市民及び市内事業所の支援を目的として、事前に登録を受けた市内の事業所で使用できる地域商品券を市民全員に配布するものです。

なお、審査過程において、(仮称)梅原広場の活用検討業務の報告について、和歌山市中央卸売市場活性化ビジョン(案)のパブリックコメント実施について、和歌山市中央卸売市場青果卸売場棟の完成について、第6ブロックにおけるコミュニケーションセンター整備の進捗状況について、第三次和歌山市子供読書活動推進計画の策定について、中学校全員給食などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

建設企業委員会

当委員会に付託された議案11件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第6号)中、交通安全施設整備事業100万円について。これは、個人からの寄附金を活用し、道路区画線の引き直し及び交通安全施設の新設を行うものです。

和歌山電鐵運行継続支援事業6780万6千円について。これは、和歌山電鐵貴志川線の安全な運行継続を図るため、設備修繕に係る費用に対し補助金を交付するものです。

ポンプ場運転管理事業4180万円について。これは、水軒川沿いにおける浸水被害の軽減対策として水軒5号ポンプ場設備の改修を行うものです。

道路災害復旧事業1億4469万7千円について。これは、市道加太102号線災害復旧において、事業の前倒しによる年度割変更及び物価スライド等に伴い、工事費を増額補正するものです。

議案第11号、和歌山市火災予防条例の一部を改正する条例の制定

録画中継



12月9日



12月11日

なお、審査過程において、中消防署南分署宮前出張所新築工事の状況と今後の予定について、撤去工事中における旧河西橋落橋事故について、「和歌山市立地適正化計画」中間評価と今後の対応方針について、令和8年度以降の貴志川線について、旧和歌山市民会館活用事業について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



について。これは、消防庁通知「林野火災の予防及び消火活動について」が改正され、林野火災予防対策のあり方について明確化されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

厚生委員会

調査活動報告

厚生委員会では、令和7年11月12日に、町田市の「バイオエネルギーセンター」を訪問し、循環型施設管理課から、「バイオエネルギーセンターの取組」について説明を受け、現地視察を行いました。同13日に甲府市役所を訪問し、子ども応援課から、「ヴァンフォーレおしろらんの取組」について説明を受け、現地視察を行いました。



バイオエネルギーセンターの現地視察の様子

建設企業委員会

調査活動報告

建設企業委員会では、令和7年11月13日に、塩尻市にあるcore塩尻を訪問し、「地域DXによる持続可能な交通モデルとなっている自動運転バス」について事業の説明を受け、運行車両の見学を行いました。また、同14日に富山市役所を訪問し、「富山駅周辺整備事業」について、概要や今後の展望の説明を受け、現地視察を行いました。



core塩尻での運行車両見学の様子

総務委員会

調査活動報告

総務委員会では、令和7年11月18日に、札幌市役所へ札幌市官民連携窓口「SAPPORO CO-CREATION GATE」（サッポロ・コ・クリエーションゲート）について、同19日に、旭川市にある「ICTパーク」へ、その後、旭川市役所へ、今年度、本市も宣言した「ノーコード宣言」について、それぞれ視察を行いました。



旭川市ICTパークの現地視察の様子

経済文教委員会

調査活動報告

経済文教委員会では、令和7年11月18日、今治市を訪問し、担当課様から、食と農のまちづくりについて、概要や今後の展望などの説明を受けました。

また、同19日、岡山市のももたろう・スタートアップカフェ（ももスタ）を訪問し、担当課様から、スタートアップ支援業務について説明を受けた後、現地視察を行いました。



今治市役所への視察の様子

議員連盟

活動レポート

Vol.35

森林環境保全促進和歌山市議会議員連盟は、紀の川・吉野川の源流地である奈良県川上村を訪問し、旧白屋地区にある保全協賛区画の除草作業を行いました。また、11月9日に開催された「ふれあいまつり」では、本市の観光物産販売を通して、森林環境保全の促進、水源地の保護に関する啓発活動及び和歌山市の観光PRを実施しました。



観光物産販売の様子



わかのすけからのお知らせ

11月10日

広報委員会研修会を開催しました！（一社）自治体広報広聴研究所代表理事の金井茂樹様を講師にお迎えし、「広報の枠組みと戦略的広報」について、知見を深めました。

11月23日

和歌山市議会公式マスコットキャラクター表彰式を行いました！最優秀賞「わかのすけ」の制作者 てるこ様、優秀賞「結和（ゆわ）ちゃん」の制作者 ほのりん様、「わしまる」の制作者 きっしー様に、芝本議長から賞状が授与されました。

先着
100名様！

わかのすけメモ帳をプレゼントいたします。

※引換券1枚につき1冊、お一人様1冊限り。詳しくは右下の引換券をご覧ください。



和歌山市議会広報委員会

【委員長】林元 光広 【副委員長】木野 十三
【委員】中庄谷 孝次郎 坂口 多美子 山路 恭世
清末 博善 堀 登美子 辻本 太一
志賀 弘明 赤松 良寛

市議会だよりを採点してください！

議会広報アンケート
実施期間：
令和8年4月30日
(木)まで



現在
★3.4!!
★★★★☆
R7.12月時点



和歌山市議会ホームページ <http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/> 和歌山市議会 検索

地球環境保護のために、再生紙及び植物油インキを使用しています。



12

わかのすけメモ帳引換券
期間：令和8年2月2日（月）～2月27日（金）
※発行日の08時30分から17時15分まで
先着100名様
引換え場所：和歌山市役所3階
議会事務局受付